

令和6年度第4回 知多市地域公共交通会議 要旨

○日 時 令和7年3月26日(水) 午後2時00分～午後3時30分

○場 所 知多市役所 3階 協議会室

○出席委員 20名

- ・知多市 副市長 立川 泰造
- ・八幡コミュニティ 会長 伊達 八穂
- ・東部コミュニティ 会長 谷口 静子
- ・岡田コミュニティ 会長 竹内 淳介
- ・南粕谷コミュニティ 会長 鈴木 孝昭
- ・旭東コミュニティ 会長 門井 真二郎
- ・知多市社会福祉協議会 会長 渡辺 正敏
- ・知多市商工会 青年部長 上村 卓也
- ・名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 松本 幸正
- ・知多乗合株式会社 代表取締役社長 金森 隆浩(代理:橋本 大輔)
- ・レクスル株式会社 代表取締役 鶴田 誠(代理:服部 佳代)
- ・公益社団法人愛知県バス協会 専務理事 小林 裕之
- ・愛知県タクシー協会 知多支部長 藤田 和弘
- ・名古屋鉄道株式会社 地域活性化推進本部 地域連携部交通サービス担当課長 高井 勇輔(代理:竹内 勲)
- ・愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事 桑山 忍
- ・中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官 宮川 高彰(代理:渥美 宏)
- ・愛知県知多警察署 交通課長 角谷 望(代理:舟橋 秀晃)
- ・知多市 都市整備部長 細川 賢弘
- ・知多市 福祉子ども部長 花井 佳世
- ・知多市 環境経済部長 竹内 和彦

○欠席委員 3名

- ・知多市観光協会 会長 酒井 清
- ・愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長 石屋 義道
- ・愛知県知多建設事務所 維持管理課長 伴野 誠司

○傍聴者 14名

○事務局 7名

- ・企画部長 林 和宏
- ・市民協働課長 平岩 佳代
- ・市民協働課 青木 優
- ・市民協働課 竹内 俊介
- ・市民協働課 宮崎 彩寧
- ・市民協働課 小林 宙
- ・都市計画課 早川 康裕

会議の経過及び発言の要旨

1 あいさつ

【副市長】

日頃から市政運営にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本日は、協議事項のひとつとして、知多市地域公共交通計画の策定状況を議題として取り上げる。今年度実施した市民アンケート等の調査結果から計画の素案について説明し、御協議いただく。お気づきの点など積極的にご意見をいただきたい。

2 協議事項

(1) 知多市地域公共交通策定の進捗状況について（資料1）

【事務局】

- ・今年度は、本市の地域特性や公共交通の現状、乗降調査やアンケート調査のほか、関係者へのヒアリングを実施し、計画の素案（資料1-2）をとりまとめた。

- ・45ページの第6章では課題抽出の背景として①から⑩までの10の分類から、知多市の地域公共交通の課題を4つに集約した。
- ・課題1として、市内外の移動を支える公共交通ネットワークの維持（46ページ）
- ・課題2として、多様化する移動ニーズに対応した使いやすい公共交通の提供（47ページ）
- ・課題3として、公共交通についての認知度、興味関心の向上（48ページ）
- ・課題4として、あらゆる関係者による連携・協働（49ページ）
- ・50ページの第7章では「持続可能な公共交通が支える安心して暮らせるまち」を交通将来像として掲げ、4つの課題に対応する3つの方針を定めました。
- ・方針1は「ニーズに対応した公共交通体系を維持・活性化します」
- ・方針2は「公共交通をみんなで支える意識を育みます」
- ・方針3は「分野を超えた関係者によるリ・デザインに取り組みます」
- ・公共交通ネットワークのイメージは、鉄道、路線バス、あいあいバス、地域バス及びタクシーのほか、市民の方やその他のあらゆる関係者が連携・協働して、既存のネットワークの維持、活性化に取り組むとともに、まちの変化や移動ニーズに合わせながら、持続可能な公共交通を形成することを目指している。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

外国人への対応が求められることが増えてきていると思うが、市としての位置付けはどのように捉えているか。また、方針でいうとどこに含まれるか。

【事務局】

5ページに国籍別外国人人口の推移を示している。人口減少が進む中で、外国人の方にも公共交通を支えてもらえるよう、例えば、バスマップの多言語化などわかりやすい情報発信に努めるなど考えていきたい。課題の3、方針2に含まれる。

【副会長】

外国人の方への情報発信や多言語などの文言を記載できると、今後検討する取組内容が

位置付けしやすい。

また、観光分野はこれからの時代、大変重要になる。方針3に掲げたとおり、観光施設へのアクセス性や回遊性を高め、観光客にご利用いただけるような公共交通を目指していただきたい。

【委員】

この計画素案をもとに、今後バス停の数は増やすのか、減らすのか、どのような方向性なのか教えていただきたい。

【事務局】

計画の策定に当たり、利用者アンケート、市民アンケートを実施し、移動ニーズについて整理をしている。今後の利用が見込まれるところがあれば、バス停の増設などを検討していきたい。

【委員】

決定する前に、試験的に皆さんの希望を取って実施することも大事かと思う。

【副会長】

地域のきめ細かいニーズ等の要望があった際にはそれを実現していくということだが、計画の方針ではどこにあたるか。

【事務局】

方針1にあたる。

【副会長】

方針1に、地域の現状や移動ニーズ、まちづくりの動向に応じたサービスの提供についての記載があり、この方針に従った形でのバス停設置も可能と考えられる。ただし、設置するかどうかは次の段階の検討となることをご理解いただきたい。

【委員】

東部地区は東海市、東浦町、阿久比町に隣接しており、交通手段がもう少し充実してくれれば地域の利便性が高まると思う。

【副会長】

8 ページに地形が整理されており、東部地区は平均標高が高くて坂が多いことがわかる。そういう地域における便利な公共交通というのは、方針1に含まれる内容で対応する想定でよいか。

【事務局】

方針1に位置付けている。東部コミュニティは地理的要件から地域バスを運行しており、今後も持続可能な体制を保ってコミュニティと協働で取り組んでいきたい。

【委員】

市内の観光施設と連携した周遊とあるが、梅まつりの会場となる佐布里方面へ岡田地区から直接行く手段がない。今年は期間限定で岡田まちあるきバスが運行していたが、ニーズが高く、本格的に岡田と佐布里を結ぶルートも検討いただけると有難い。

【事務局】

観光分野の計画でも、岡田地区と佐布里地区をつなぐような連携が必要という記載もあるので、庁内の関係部署にも意見を聞きながら検討していきたい。

【副会長】

方針にも掲げているので、観光部局と連携しながら、計画の中で実現に向けて関係する方と協議してもらいたい。

【委員】

些細な課題になるが、地元の南粕谷地区と鉄道駅間にはバスが少なく、仕事終わりに名古屋方面から電車で帰ってきた際に、最寄りの駅からは家族の迎えかタクシー頼みになっ

ている。タクシーがつかまらない事も多々あり、夜間の移動手段があると助かる。現役世代にも優しいまちづくりをしてもらいたい。

【事務局】

バスの夜間のニーズは今回の調査で確認している。タクシーについては、配車アプリの活用など、ドライバーを増やすだけでなく、利用につながる取組を進めていきたい。

【副会長】

DXなどを使って、待たずにタクシーを利用できる可能性があるので、その周知の必要性もある。

【委員】

タクシー車両が足りないという話があるが、アプリでは10分以内に迎えに行ける車両が手配されることになる。どうしても需要がある地域に集中する傾向になるので、地域に張り付くには行政からの支援がないと無理である。

【副会長】

タクシーは繁華街では問題なく利用できるが、自宅の最寄り駅では利用できない。市場原理ではなく何らかの公共支援も必要になる可能性がある。そういう仕組みを検討する必要が出てくるかもしれない。

【委員】

旭東地区も陸の孤島と言われるような地域で、周囲の人は動ける限りは自分で運転する意識が強いと思われる。あいあいバスは普段使いできないが、いざという時に使えるのであって良かったと思う事もある。計画を通じて、運転免許証の返納後も外出しやすい環境を整備していただきたい。

【副会長】

現実的にサービス水準が高くない公共交通で日々の生活を送るのは難しいが、知っても

らって使ってもらえることが大事。方針2は意識を変えていくことで、知多市の計画の一つの特徴だと思う。駅前の整備への記載はあるのか。

【事務局】

現在は記載していないが、結節点として重要な位置付けで、乗り継ぎ等の利便性の向上に向けて常に注意していきたい。

【委員】

方針2に公共交通を利用する機会をつくるとあるが、具体的に何かあるのか。

【事務局】

アンケート調査で、公共交通の利用は車が運転できなくなってからという回答が大半だったが、車が運転できなくなる頃には公共交通の利用も難しくなると思うので、車が運転できるうちに公共交通を使う機会を設けて、公共交通に慣れてもらうような取組ができるとよいと考えている。また、公共交通を移動手段としてだけでなく利用そのものを目的としていただけるよう、スタンプラリーや子どもの絵を車内に掲示するなど、できることから検討していきたい。

【副会長】

委員の皆様からもアイデアをいただきたいと思う。また、駅前の再開発について、拠点性を高めるためには、公共交通の再編はあるべきで、拠点の整備に伴ってネットワークの再編を検討する記述があると良い。どうしても公共交通の将来は暗くなる傾向なので、知多市の特徴を散りばめながら、公共交通が良くなり、住み続けようと思ってもらえるような明るい話題を入れた計画を策定されたい。

【事務局】

課題4の「まちづくり計画との連携が必要」という範囲で大きくは含めているが、もう少し具体的に追記する方向性で策定を進める。

【副会長】

公表できる範囲でよいので記載できると良い。委員の皆様には、一度持ち帰っていただき、気づいた点があれば4月11日までにご意見をいただきたい。それぞれの視点から、過不足ないようご確認いただきたい。協議事項1について、その他よろしいか。

【委員】

(一同、異議なし)

(2) 令和7年度地域公共交通会議予算(案)及び事業計画(案)について(資料2)

【事務局】

- ・ 知多市地域公共交通会議設置要綱第13条及び財務規程にもとづき、協議するもの。
- ・ 予算(案)は、歳入歳出の総額を1,499,000円としている。
- ・ 事業計画(案)は、地域公共交通会議の開催を3回予定している。また、6月には乗降調査、7～10月にはオープンハウスやワークショップ、12月にはパブリックコメントを実施する予定。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

6年度は、国庫補助金を活用しながら計画策定を進めてきた。7年度は、計画素案をもとに地域住民から意見を聞くことが求められており、オープンハウスやワークショップ、パブリックコメントを予定している。広く市民の方の意見をいただきながら計画を仕上げするための費用が計上されている。特に異論ないということで、協議事項2について、その他よろしいか。

【委員】

(一同、異議なし)

(3) あいあいバスルート上の長期交通規制に伴う迂回運行について(資料3)

【事務局】

- ・あいあいバス北部循環コース（系統1、系統2）のルート上において、車両通行止めを伴う下水道工事が実施されるため令和7年6月3日から、運行経路、停留所を変更して運行する。
- ・運行経路は、緒川新田交差点を通過するルートに迂回する。
- ・停留所は、「東部まちづくりセンター」バス停を休止、「北巽が丘集会所」バス停を名古屋半田線沿いに移設する。
- ・運行事業者、道路管理者、知多警察署、バス停移設先の地権者及び愛知運輸支局には事前に確認し、支障なしと回答を受けている。
- ・地区回覧、広報ちた5月号、市ホームページ、工事看板等で周知する予定。

<主な質疑、意見等>

【委員】

迂回運行期間が非常に長い。バス停が休止される東部まちづくりセンターは地域の方が集まる施設なので、できるだけ早く復旧してほしい。工事終了の時期について、大まかによいが、わからないか。

【事務局】

工事は年度内には終了すると聞いているが詳細な時期は進捗次第になる。工事終了の時期が決まり次第、しっかりと周知する。

【委員】

必要に応じて適宜、周知をお願いしたい。

【副会長】

地域バスの利用により移動ニーズはカバーできるのか。

【事務局】

地域バス、あいあいバスとの乗り継ぎは、時間帯によっては可能だが、全て接続ができるようなダイヤを組んでいない。あいあいバス「東部交番」バス停が近くに設置されてい

るので代替バス停として利用いただくことをお願いしたり、カネスエ阿久比店などへの移動は、地域バスのご利用をお願いしたりするなど、影響のある地区には手厚く周知したいと考えている。

【副会長】

やむを得ない迂回運行だと思うので、東部地区の住民の方にご協力いただけるよう丁寧に周知されたい。協議事項3について、その他よろしいか。

【委員】

(一同、異議なし)

3 報告事項

(1) あいあいバスの車両更新及びダイヤ見直しの方向性について（資料4）

【事務局】

- ・前回会議で報告した、あいあいバス北部循環コース系統1の車両は耐用年数の目安である10年を迎えるため、令和7年10月頃に車両を更新する。
- ・新しい車両は、脱炭素社会に向け、現行のディーゼル車から小型電気（EV）バスへの更新を予定している。
- ・令和7年10月頃のEVバスへの更新に伴い、継ぎ足し充電の時間を確保するためのダイヤ改正を予定しており、また、ルート上の混雑状況に対応するための見直し、利用ニーズに合わせたダイヤの見直しの方向性を4つ検討している。
- ・方向性1は、EV車（系統1）の日中の継ぎ足し充電を確保するための見直し。
- ・方向性2は、系統1、南部コースの早朝時間帯の混雑対応を行うための見直し。
- ・方向性3は、南部コースの所要時間の見直し。
- ・方向性4は、系統2の始発バス停の見直し。
- ・方向性については、運行事業者と最終案を調整し、来年度の地域公共交通会議で協議する予定。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

E Vバスの充電時間の確保により利便性が低下しないよう、最終案をしっかりとまとめていただきたい。

【委員】

あいあいバスは1日の走行距離が長いので、E V車の継ぎ足し充電が必要である。現行ダイヤと大きく変わらないよう、鉄道との乗り継ぎも踏まえてダイヤ調整の検討を進めていきたい。前回の路線バスのダイヤ改正で特急からの乗り継ぎ時間を改善したら、利用者が少しずつ増えてきた。便利になれば振り向いてもらえる。その流れに沿うように計画していかなければならない。

混雑対応等のダイヤ見直しの方向性については大賛成である。朝ダイヤの定時性を守り、信頼いただく取組のひとつである。また、南部コースは実走後に回送で戻っており、規定上1人の運転手で賄えない。所要時間だけでなく、違う観点も踏まえて調整し、利用者がより便利になるような見直しを協議していきたい。

4 その他

【事務局】

事務局より3点報告したい。

●はじめよう！路線バス通学について

- ・6年度から市内路線バスで通学する学生などを対象に、定期券の購入額の3割を補助する事業を開始し、7年度も同様に実施する。
- ・定期券の購入場所について、以前までは朝倉駅きっぷ売り場等で紙の定期券を販売していたが、今年2月に路線バス定期券がI Cカードに移行したことに伴い、太田川駅南改札口きっぷ売り場、知多乗合株式会社東海営業所及び知多半田駅前クラシティに変更している。

●市職員のエコ通勤デーの実施報告について

- ・昨年12月4日の県内一斉エコ通勤デーに市職員に対してマイカー通勤を控えた移動の

協力を呼びかけ、アンケート調査を実施した。普段車やバイクで通勤している職員190名の約27%にあたる51名の職員がエコ通勤をしたことを確認した。

●佐布里池梅まつりの開催期間中の公共交通について

- ・電車で来場された方を対象とした抽選会を実施した。また、会場へのアクセスの充実として、路線バス佐布里線の休日ダイヤを増便して運行した。
- ・名鉄知多タクシー株式会社には、タクシー車両へマグネットシートを掲示し、梅まつりの開催を周知していただき、会場駐車場にタクシー乗降場の案内ポールを設置し、乗り場をわかりやすくしていただいた。
- ・レスクル株式会社には臨時駐車場からのシャトルバスを運行していただいた。

<主な質疑、意見等>

【副会長】

路線バス通学定期のサポートが非常に素晴らしい取組であるが、販売所が変更になり、知多市の高校生はどこで定期を買えばよいのか。

【事務局】

名鉄太田川駅のきっぷ売り場、または知多乗合の東海営業所、知多半田駅前のクラシティブィ2階の中にあるかもめツアーセンター、知多半島内では3か所になる。市内の路線バスを使ってもらう取組をしている中で、市内で買えないのはおかしいので、知多乗合株式会社には市内で買えるように依頼している。

【委員】

定期券をIC化したことで発売箇所が制限されてしまった。ICの発行端末を整備しなければいけないのがひとつのハードルになっている。朝倉駅は時間によって無人となり、端末を置く場所の問題もありIC定期券の発行が難しく、まずは太田川駅での販売としている。名鉄だけでなく、その他団体にも協力してもらって、役場やコミュニティセンターでも購入できないか、視野を広げて検討や申し入れをしていきたい。

【副会長】

期間限定で販売会場の設置や、ネットで申し込んで市役所で受け取るなど、色々な方法を考えていただき、次年度に向けて改善を進めてもらいたい。他自治体の情報収集をしながら、高校生が市内で入手できる環境を作ってあげてほしい。

また、エコ通勤の参加率27%はすごい数字である。佐布里池の梅まつりも皆様にご協力いただけてよかった。

その他、意見等無し。会議終了。